

## 第6回 TIAナノグリーン・サマースクール開催報告



**西堀英治 教授**  
 筑波大学数理物質系

環境・エネルギー分野のイノベーション、いわゆるグリーンイノベーションに貢献する人材を育成するための教育プログラムとして、本年もナノグリーン・サマースクールが8月29日から31日の日程で開催されました。実施・運営を行った西堀 英治 教授(筑波大学数理物質系)にお話を伺いました。

第6回目となるTIANANOグリーン・サマースクールが開催されました。昨年、一昨年に引き続き3日間の日程で密度の高いプログラムを組みました。対象はナノグリーン分野の研究に興味を持つ大学院生および社会人です。外国人2名を含む15名の大学院生の申し込みがありました。筑波大学以外の大学院からの参加者1名、社会人大学院生1名が含まれています。また、当日の講義のみの聴講も2名ありました。今後もつくば地区以外の学生に旅費等をサポートすることで、研究交流の場を提供していきたいと思えます。

本サマースクールのプログラムは、ナノグリーンに関連する基礎から先端研究を含んだ講義によって構成されています。スクール参加者は3日間にわたり、太陽電池、光デバイス、先端計測についての講義を受講しました。受講生はもちろんのこと、講義の先生方の熱心な様子が印象的でした。

熱心な講義風景



活況だった合同ポスターセッション ポスター紹介のショートプレゼン



2日目の午後に、TIANANOエレクトロニクス・ナノテクノロジーサマースクールとの合同ポスターセッションが行われました。全員のショートプレゼンテーションに引き続き、ポスター発表が行われました。発表では、学会などでは聞けない、中途な状況の研究等の発表もあり、企業・教員アドバイザーから様々な形での討論や提言が行われました。また、発表者間で共同研究テーマを考えて提案することをレポート課題としていたため、発表者間でも活発な討論が行われていました。

3日目の講義終了後、修了式が行われました。スクール生に修了証書が授与され、続いてポスター発表とレポートが優秀と認められた3名の学生に奨励賞が授与されました。修了式後には物質・材料機構(NIMS)の施設見学が行われました。

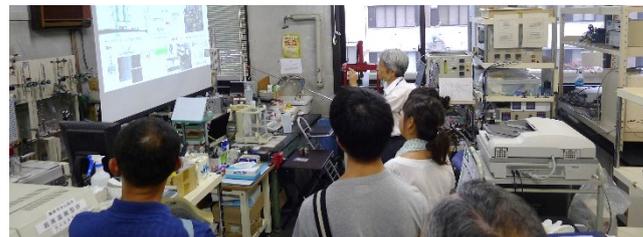
本年度はつくば地区外からの参加が例年より少なかったようです。今後は開催の周知時期を早めるなど幅広い研究交流を促進できるよう検討したいと思います。

修了式での奨励賞受賞

分野を超えた交流



物質・材料研究機構(NIMS)での施設見学



開催日	2018年8月29日(水)～8月31日(金)
会場	筑波大学総合研究棟B
主催	筑波大学大学院数理物質科学研究科、エネルギー物質科学研究センター (TREMS)
共催	物質・材料研究機構 (NIMS)
構成	講義7コマ+ポスターセッション(レポート提出)+施設(NIMS)見学
参加者数	17名(大学院生15名、学部生1名、研究員1名)
修了証	17名に授与
表彰者	奨励賞(ポスター+レポート)3名

TIA連携大学院 News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。 <https://tia-edu.jp>



●編集・発行・連絡先:

国立大学法人 筑波大学 TIA推進室 tia-edu@un.tsukuba.ac.jp  
 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1